

ベルリン自転車展 (VELO Berlin) 参観報告

昨年、開催地をベルリンに移したばかりの同展は、今回は名称や会期も変えて新たな出発となった。

【VELO Berlin】

主催： Messe Friedrichshafen, VeloKonzept Saade GmbH

協力： Messe Berlin、DB(ドイツ鉄道)、ZIV 等

会場： Messe Berlin

使用ホール： ホール 20、21a、21b 及び Palais 11,000 m² (昨年 3,800 m²)

会期： 2011年3月26日(土)~27日(日) 10:00~18:00

入場者数： 8,450名 (昨年 66,000名 ※但し自転車、ボート両展合計)

出展社数： 160社 (昨年 72社)



メッセ会場入口



ホール 20 の様子



小売店ブース (左：RADhaus、右：Stadler)

1. 主役は電動アシスト自転車

ドイツの消費者向け地方自転車展「fahrrad.markt.zukunft.」は、国内4か所（北部：ブレーメン、南部：カールスルーエ、東部：ベルリン及び中部：フランクフルト）で開催され、東部地域は09年にライプツィヒからベルリンに会場を移転したばかりであった。09年11月末開催のベルリン会場は、大規模船舶用品展「BOOTS MESSE」との共催の相乗効果により、自転車展示会場にも多くの人々が溢れていた。

今回のベルリン会場は、EUROBIKEを手掛けるメッセ・フリードリヒスハーフェンが主催者となり、名称を「VELO Berlin」に変え会期も3月にずらす新たな開催形態となった。結果として来場者数は昨年より大幅減となったが、前回は大規模展と共催であり、自転車展単独開催の本年と単純比較はできない。実際に両年の会場を訪れたが閑散とした印象は全くなかった。出展規模では前回は1ホールのみであったが、本年は利用ホール数、出展面積共に増加し、出展社は昨年より2倍以上増え160社となった。



各小間で増えた電動アシスト自転車

出展車種では電動アシスト自転車(EPAC)を中心に、スポーツ車、シティ車やトレッキング

車等と幅広く、部品・付属品も揃っていた。出展社の中心は地域の小売店舗であったが、パンサー、Goericke、Cheker Pig 及び VIVA 等の複数ブランドを展開した BBF Bikes、シティ車とトレッキング車の FALTER、スポーツ車の MORRISON を揃えた共同購買団体 BICO 等が数多くの自転車を並べていた。

EPAC では、ダービーサイクルのカルクホフとラレー、ケトラー、フライヤー、ビクトリア、KTM 及び BionX、購買団体 ZEG が BULLS の EPAC を展示する等、数量、種類が共に昨年よりはるかに充実していた。エクストラエナジーの試乗コースでは各社の EPAC に試乗する人々が多く見られ、ドイツの中で出遅れ感のあった東部地域でも EPAC への注目が高まっていることが伺われた。スポーツ車中心の出展社では、キャノンデール、コガ、Winora の HAIBIKE、モーゼル、BBF の ChekerPig、通販の Rose 等であり、欧米有力ブランドは比較的少ない。シティ車やトレッキング車では Contoura、Kreidler、Velo de Ville 及び Berlin RAD なども見られ、クラシカルな仕様のシティ車等も散見され、両車種でも地域的な特徴が見られた。

更に Palaic 会場では、小規模なハンドメイドフレームメーカーを中心に出展社が集まり、昨年引き続きケイリン・カフェの出展も見られた。また、ここには観光やサイクリングなどのインフォメーションブースも集まっていた。

2. 付加価値を高める試み

展示会前日には関連催事として、自転車関連のセミナー「METROMOBILE」が開催された。都市交通における自転車の役割等に関して、コペンハーゲン、ロンドンの貸自転車の現状、ベルリンの交通施策、DB レントの Call a Bike 等が紹介された。今回初の試みであり、催事進行の大幅な遅れやまばらな聴講者など課題を残したが、今回はより多くの人々が興味を持ち参加できるよう、ドイツ開催の地の利を生かし、他国の先進例よりもドイツ各地の自転車関連施策の最新動向を詳しく取り上げることも必要かと思われる。

同月上旬にベルリンでは自転車展「Berliner Fahrrad Schau」も開催されたが、同展はシングルスピード車に特化した専門性の高い催事であった。従来の消費者向け自転車展として、現在流行中の EPAC を中心に自転車関連商品を網羅した VELO Berlin とは開催趣旨が違い、両者が競合状態にあるとは考えにくい。しかしながら、大都市ベルリンでの自転車展開催は適切であり、同展がより発展するため、昨今、ドイツ各地で増加傾向にある消費者向け地方展にとどまらず差別化を図るべく、展示会の付加価値を高めようとする主催者の努力の跡も見られ、今後、ドイツ東部における中心的な自転車展となる可能性も秘めている。



METROMOBILE セミナー



Palais 会場の様子

以 上

(国際業務部)



この報告書は、競輪の補助金を受けて作成したものです。

